



デジタル時代における MBA

黒田インターナショナル
黒田 毅

新しい IT,IOT システムとビックデータの時代において、これら IT システムにおける企業経営への移行はその先端システムとともに、新しい現実の創造を可能とする。

これら今の時代先端性において過去の MBA システムは手工業のシステムとなる。これら時代変化は想像より速く、その変化は大きいのである。また産業革命とこれら新規システムにおけるネクストソサエティの創造は明らかに現実なのである。

デジタル通貨の新しい現実、インターネットと IOT における新しい可能性の創造を現実化する。

AI におけるアシスタントは、ビックデータにおける新しいマーケティングと企業経営を実現する。

これらは既存システムに比べその機能性と利便性効率性においてはるかに優れるのである。

これらは、MBA が、その拡大した現実とその最効率的な企業経営を提案できるのである。

これら新しいシステムにおける企業経営は、その企業が時代を経て、優れた創造性を実現する。これらは社内チームにおける新しい企業基準における企業経営は、新しい組織における優れた企業環境をその先端企業において発見できるのである。

これらは、MBA においてその生産性を比較し、インダストリー 4.0 における新しい品質基準とともに、企業がその生産システムを先端システムにおいて、IT システムとともに実現することは、間接部門における自己 IT システムへの移行とともに、企業の大幅なオートメーション化を実現し、これらコスト効率性の向上は、高い生産性への移行とともに、新しい企業への転換を可能とするのである。